2013.10.15 打ち合わせの様子

皆様こんにちは。きたかんリポーター、てしおしじみちゃんプロジェクトのサクライです。2013年10月15日（火）夕方から札幌市内中小企業診断士協会に私たちメンバー4人が集結。10月24日（木）に天塩町で開催される「第2回検討会」に向けて、運営側とともに事前の打ち合わせを行いました

【写真-1】「議題は3つ」。論点を整理するハママサ

今回の議題はこちら。
１．天塩町での第1回目検討会（9月25日）終了後、委員が増えそうなことを受けて、会議の運営方法を検討
２．第２回検討会の開催内容と、時間配分を検討
３．今後の議題や流れについての検討　　　　　　　こんな内容で、話し合いをしました。

【写真-2】会議を書いて認識する「ファシリテーショングラフィック」

メンバーの増員にあたり、より多くの天塩町民が検討委員として会議に関われるよう、昼と夜の2部開催としました。
しかし2部制にした場合「昼と夜との意見をどう共有し、意見を収束させるか」など新たな問題が出てきました。会議は一般的に「1．情報共有→2．発散→3．収束」のプロセスをたどります。

２部制で会議をどう統制するかを話し合った結果、1の「情報共有」は、各会での話し合いの議事録や模造紙などで共有することに。2「発散」に関しては、２部制となっても主体的な参加者が多いので問題はなさそう。しかし3の「収束」をどうするか･･･。言いっ放しに終わることなく、やはり収束は皆で行わなければという意見を受け、なるべく会議に出た全員が集まれるよう、週末や土日を含めた日で、会議の場を開くこととしました。

【写真-3】意見が決まっていくのも「ファシグラ」効果。字の巧拙は問いません

次回、第２回目検討会は前回欠席者にも配慮し、参加者の自己紹介を兼ねて、1回目を振り返りながら場の雰囲気をつくることに。そして会議の本題については、天塩町の良いところを中心にした現状分析や、本来の目的となる「かわまちづくり」にこだわることなく、フランクに意見を出すこととしました。

そして次回以降の話し合いについて、収束に向けた優先順位付けや、意志決定をするにはどのような場を設けていくかを話し合いました。

【写真-4】白熱した議論で準備を進めるメンバー

次回は10月24日、天塩町にて第2回の検討委員会報告です。「天塩町が良くなるために！」－－－こころを一つに、しじみちゃんプロジェクトは続きます！